

令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハラレ市における孤児及び脆弱な青少年のための多目的技術訓練センター建設計画」引渡式

1月26日、令和二年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハラレ市における孤児及び脆弱な青少年のための多目的技術訓練センター建設計画」により建設された施設の引渡式が開催されました。

同プロジェクトでは、ジヴァラセクワ地区で活動しているNGO「ジクワ・トラストファンド」により、孤児や脆弱な環境に置かれている若者を対象とした職業訓練を実施するための施設が整備されました。

ジヴァラセクワ地区の住民の大半は定職に就けておらず、賃金の安い卸売業や路上販売をしています。密集した居住地であり、貧困な親の元で暮らす子どもの生活環境は過酷であり、家庭内の暴力、性的虐待等の被害が常態化しています。

孤児や若者が知識や技能を身につけ、将来的に経済的自立を可能にするために設立された職業訓練センターでは、キャリア構築、起業、縫製、洗剤製造等のための研修が実施される予定です。また、少女・女性のためのエンパワーメント研修として、女性の権利、ジェンダーに基づく暴力に対する反抗、交渉やプレゼンテーションのスキル向上等について学ぶ機会が提供される予定です。

同式典において、ジクワ・トラストファンドほか地元関係者から、ジヴァラセクワ地区へ住民に職業訓練の機会が与えられたことに対する感謝の意が述べられました。また、田中大使は、長年にわたり多くの子どもたちを支援しているジクワ・トラストファンドを称賛するとともに、新しく建設した施設が、子どもやその家族にとって有効なものとなり、特に少女や女性が偏見を受けずに、社会的に認められる社会になってほしいと述べました。



多目的技術訓練センター



田中大使とジクワトラストのスタッフ



開校を祝うテープカット



ジクワトラストスタッフが施設について説明



職業訓練で使用するミシン



センター内に設置したトイレ



ジンバブエの伝統ダンスを披露する子どもたち



歌唱グループの国歌斉唱